

本宮市第1次総合計画の検証について

1. 第1次総合計画の検証及び第2次総合計画策定に向けた考え方(全体共通)

①将来像や目標に対する意識の共有

将来像や目標を明確にするとともに、市民、地域、事業所、行政などあらゆる主体が将来像や目標に対する意識を共有することが重要である。

②10年後の将来像や目標からの逆算方式による計画策定・推進とマネジメントサイクルの確立

10年後の将来像から逆算し、目標を達成するために何を成していくべきかという視点をもった計画策定と進行管理が必要（特に蓋然性の高い分野）。また、目標を達成するための手段としての事業であることを認識し、成果が出ていないものは、その原因を分析し、手法や内容の改善を行う意識と仕組づくりが必要である。（マネジメントサイクルの確立）

③エビデンス（証拠・根拠）に基づく検証と企画立案

勘、経験、思い込み（KKO）によるものではなく、社会情勢や将来を見通した中で、各種定量データや市民の声などエビデンス（証拠・根拠）に基づく計画策定と企画立案が必要である。

④実効性のある適切な成果指標の設定

施策毎に設定している成果指標については、目標の達成度を示すものとして馴染まないものが多く設定されている。このことから、第2次総合計画を策定する際には、指標の性質（成果指標、活動指標、モニタリング指標など）を踏まえるとともに、その目標の達成度を象徴するものであることが必要。また、理想値と実現可能値の整理（計画期間中に実現可能性のある値にすることが重要）や施策全体のバランス、さらには既存の数値を使用するだけでなく、必要な数値をとりに行くというスタンスも重要である。

2. 施策別検証

(1) 豊かな心と創造力あふれる人材育成のまちづくり

①子どもの生きる力を育む教育の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
全国学力検査偏差値 (小学校)	-	54.0以上	53.9	53.8	53.9	53.2	53.9	
全国学力検査偏差値 (中学校)	-	51.0以上	50.6	51.4	51.1	50.9	51.1	
朝食をとる児童生徒の割合	%	100%	97.2	97.2	96.7	98.5	98.2	
公立学校施設耐震化率	%	100%	81.8	89.4	95.7	97.9	100.0	

< 検証 >

○小学校の偏差値については、いずれの年度も目標値に達していない。中学校の偏差値は、平成27年度を除き目標値に達している。

○朝食をとる児童生徒の割合についても、目標値に達しておらず、また、年度によってバラつきがあった。

○耐震化率は着実に整備をすすめ、平成28年度には100%に達した。

○市民意識調査で、重要性が高く評価されている分野であり、今後さらなる教育の質の向上に努めていく必要がある。

②青少年の健全育成の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
青少年健全育成事業実施回数	回	25回/年以上	20	28	28	30	30	
体験活動・ボランティア活動支援センターの支援活動の実施回数	回	90回/年以上	75	63	58	35	44	

< 検証 >

○成果指標については、青少年健全育成事業回数が目標値を上回っている一方で、体験活動・ボランティア活動支援センターの支援活動実施回数は、目標値を下回っている。

○指標の内容が、成果でなく活動量を表すものとなっており、指標の設定の仕方を再検討する必要がある。

○市民意識調査では、重要性は高いが満足度は相対的に低い評価がされており、手法を再検討する必要がある。

③生涯学習の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
生涯学習学級講座等への参加者数	人	530人/年以上	478	539	531	445	363	
図書館（室）の利用者数	人	46,000人/年以上	41,761	40,528	35,653	42,908	41,446	
都市間交流・多文化共生事業の回数	回	40回/年以上	35	42	38	36	32	

< 検証 >

- 生涯学習学級等講座への参加者数については、減少傾向にある。ただし、指標の設定にあたっては、量を求めるのか、質を求めるのか、再検討を要する。
- 図書館の利用については、目標に達しておらず、さらなる利活用を図る必要がある。
- 都市間交流・多文化共生については、指標の内容が活動量を表すものとなっており、指標の設定の仕方を再検討する必要がある。
- 市民意識調査では、満足度は相対的に高い分野となっているが、市民の生きがいつくりや、地域の活力維持のためには重要な分野であり、今後もより多くの市民が取り組めるよう推進を図る必要がある。

④生涯スポーツの推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
総合型スポーツクラブの会員数	人	1,500人以上	1,243	1,348	1,423	1,535	1,651	
体育協会加盟団体数	団体	20団体	17	17	17	17	17	
体育協会加盟団体登録者数	人	2,000人以上	1,888	1,915	1,461	2,078	2,048	
スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	人	360,000人/年以上	357,024	351,769	341,824	354,287	342,897	

< 検証 >

- 総合型スポーツクラブの会員数は増加傾向にあるが、その他の指標については、目標値に達していないものが多い。
- 年度によりバラつきがあり、指標の設定の仕方、原因の分析等も含めた管理の方法等について再検討が必要である。
- 市民意識調査では、満足度は相対的に高い分野となっているが、健康長寿のまちづくりのためには重要な分野であり、今後もより多くの市民が取り組めるよう推進を図る必要がある。

⑤文化財の保存と文化芸術活動の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
資料館・ふれあい文化ホール入館者数	人	12,600人/年以上	11,994	11,749	11,155	7,951	10,685	
芸術・文化事業への参加者数	人	3,030人/年以上	2,879	3,075	2,742	2,611	1,696	

< 検証 >

- 成果指標については、いずれも目標値を下回っている。
- 年度によりバラつきがあり、指標の設定の仕方、原因の分析等も含めた管理の方法等について再検討が必要である。

(2) 市民と行政の協働による自立したまちづくり

①市民参画・協働と市民の視点に立った行政活動の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
ボランティア活動をしている市民の人数	人	1,500人/年以上	1,195	-	1,352	1,176	1,251	
まちづくり出前講座開催回数	回	50回/年以上	39	40	26	33	30	
実質公債費比率	%	14.0%以下	15	14.0	12.8	11.1	9.4	
主な市税の収納率(市民税、固定資産税、軽自動車税)	%	93.5%以上	92.27	92.57	93.09	93.92	94.65	

< 検証 >

- 実質公債費比率、市税収納率は目標値に達しているが、今後も国の動向や景気等を注視しながら、計画的・戦略的な行財政運営が求められる。
- ボランティア活動及びまちづくり講座開催回数については、目標値に達していない。ボランティアについては、今後さらに重要性を増す分野であり、指標管理の手法とあわせ再検討が必要である。なお、指標の内容が活動量を表すものとなっており、指標の設定の仕方を再検討する必要がある。

②地域コミュニティ活動の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
地域づくり協議会組織数	組織	12団体	11	11	11	11	11	
町内会（行政区）会員加入率	%	93.0%以上	90.3	92.4	88.0	90.0	89.0	

< 検証 >

○成果指標は、いずれも目標値に達していない。
 ○市民意識調査では、重要度が全項目中最も低く評価されている。少子高齢化・人口減少の進行や防災・減災の重要性の高まりを背景に、地域の活力維持や災害時の自助・共助の取組を推進するにあたり大変重要な分野であることから、市民の意識の醸成が重要課題となる。

(3) 共に支えあうやさしいまちづくり

①子育て支援の充実

指標名	単位	目標値 (H30)	H24)	H25	H26	H27	H28	傾向
合計特殊出生率	-	上昇を目指す	1.28	1.40	1.42	1.45	1.58	
市内公立保育所の待機児童数	人	0を維持する	0	0	0	0	0	

< 検証 >

○合計特殊出生率は、計算方法を整理。震災直後は減少していたが、その後は着実に上昇傾向にある。今後も引き続き人口置換数値2.07に近づけるよう上昇を目指す必要がある。
 ○待機児童については、基準日時点では0を維持している状況にあるが、通年で子育て世帯のニーズに対応できるよう継続して取り組む必要がある。
 ○市民満足度調査では、最も重要性が高く評価されている分野であり、今後さらなる量と質の向上に努めていく必要がある。

②心と体の健康づくりの推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24)	H25	H26	H27	H28	傾向
自分が健康だと意識している市民の割合	%	80%以上	79				83	
一般健康診査受診率（30～40歳未満）	%	15%以上	12.4	15.0	18.0	24.5	27.5	
年間追加被ばく線量	ms/年	1ms/年未満	0.93	0.65	0.44	0.29	0.25	
市民(国民健康保険加入者)一人あたりの医療費	円	293,000円/年未満	305,628	312,767	313,683	317,155	340,692	

< 検証 >

- 成果視表については、市民1人あたりの医療費を除いて目標値に達している。
- 医療費については、データヘルス計画を着実に実行し、縮減に努めていく必要がある。
- 市民意識調査では、重要度及び満足度共に相対的に高い評価を受けている分野である。他方、生活の心配ごととしては、「自分の病気や老後のこと」、「家族の健康や介護のこと」が上位を占めており、今後も改善を含めさらなる推進を図る必要がある。

③高齢者福祉の充実

指標名	単位	目標値 (H30)	H24)	H25	H26	H27	H28	傾向
社会参加活動者数(老人クラブ・シルバー人材・ボランティア活動者数)	人	3,400人/年以上	2,612	2,444	2,442	2,086	2,457	
要介護認定をうけていない高齢者の割合	%	現状を維持する	84.5	84.7	84.0	84.4	84.4	

< 検証 >

- 社会参加者数については、目標値に達していない。なお、指標の設定にあたっては、他の指標とあわせて整理が必要である。
- 要介護認定を受けていない高齢者の割合は、概ね現状を維持している。
- 市民意識調査では、重要度が高く評価されており、超高齢社会に対応した持続可能なまちづくりを推進する必要がある。

④障がい児・障がい者福祉の充実

指標名	単位	目標値 (H30)	H24)	H25	H26	H27	H28	傾向
地域移行者件数	人	11人以上	5	1	0	0	0	
相談支援コーディネーター活用件数	人	170人/年以上	140	258	260	269	310	

< 検証 >

- 地域移行者件数は目標値に達していない。
- 市民意識調査では、重要度が高い一方で満足度は低く評価されており、指標の見直しとあわせ、手法の改善等が必要である。

⑤生活援護制度の適正な運用による自立支援

指標名	単位	目標値 (H30)	H24)	H25	H26	H27	H28	傾向
生活保護受給者自立支援事業による就労支援者数	人	10人/年以上	8	8	8	8	8	

< 検証 >

- 成果指標は目標値に達していない。
- 指標の内容が活動量を表すものとなっており、指標の設定の仕方を再検討する必要がある。

⑥地域福祉の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24)	H25	H26	H27	H28	傾向
福祉ボランティア登録団体数	団体	47団体以上	44	44	43	53	56	
福祉ボランティア登録人数	人	1,400人以上	1,195	766	888	581	1,251	
ふれあいサロン開設数	箇所	53箇所以上	43	45	49	53	53	
ふれあいサロン参加者数	人	9500人/年以上	8,512	8,178	9,611	10,226	9,987	

< 検 証 >

- 福祉ボランティア登録団体数やふれあいサロン参加者数は相対的に上昇傾向にある。
- 市民意識調査では、重要度が低く評価されているが、今後この分野の重要性は共助の観点からも重要性が増していくことから、市民の意識の醸成を行っていく必要がある。
- 福祉ボランティア人数の設定については、他の指標とあわせ再検討を要する。

⑦人権尊重と男女共同参画社会の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24)	H25	H26	H27	H28	傾向
行政における審議会・委員会などの女性委員登用率	%	25.0%以上	17.5	16.8	20.5	20.5	19.8	
女性就業率	%	50.0%以上	47.8			49.1		

< 検 証 >

- 成果指標は、いずれも目標値に達していない。
- 就業率については、上昇を目指すことだけが適切なかどうか、指標設定にあたっての整理が必要。

(4) 活力あるふるさとのもちづくり

①地域の特性を活かした農林業の振興

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
認定農業者数	人	154人以上	154	156	158	161	160	
特定営農団体数	団体	2団体以上	0	0	0	0	0	
農産物販売額	百万円	1,300百万円以上	1,174	818	714	942	1,125	

< 検 証 >

- 特定営農団体数及び農産物販売額の成果指標が目標値に達していない。
- 市民意識調査では、重要性及び満足度ともに低い評価となっている。他方、農業用地が市面積の26%を占め基幹産業となっており、農業の衰退は直接的に地域の活力低下につながる恐れがある。このことから、農業のあり方について目標を明確にした上で、指標の再検討を行う必要がある。

②にぎわいと魅力あふれる商業の振興

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
年間商品販売額	億円	900.0億円/年以上	684.8		890.3		1,326.4	
従業者数	人	2,600人以上	2,244		2,144		2,505	
商工会会員数	会員	700会員以上	697	695	682	686	669	

< 検証 >

- 商品販売額は、震災直後の落ち込みからは回復し、目標値を大幅に超えている。
- 従業者数は、平成26年に一時減少したが、平成28年に増加している。
- 商工会会員数は、右肩下がりにあり、関係団体との連携による対策が必要である。

③活力ある工業の振興

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
新規立地企業累計数	社	93社以上	87	87	90	90	90	
工業出荷額（製造品出荷額）	億円	2,600億円/年以上	1,944	2,332	2,495	2,431	2,543	

< 検証 >

- 工業出荷額は、目標値には達していないが、震災直後の落ち込みからは回復基調にある。

④勤労者の雇用対策と就労環境の充実

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
就業者数	人	16,200人以上	15,214			15,355	15,355	
シルバー人材センター登録者数	人	190人以上	163	163	165	176	176	
福利厚生事業参加者数	人	50人/年以上	43	71	74	43	43	

< 検 証 >

- 成果指標はいずれも目標値に達していない。
- 雇用対策は、企業誘致・事業創出と合せ、重要度の評価が高い一方で満足度が低い分野となっており、詳細な現状分析と対策を講じる必要がある。

⑤旅人を癒す観光資源の活用と物産振興

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
定点観測地(5箇所)の入込客数	人			164,307	165,491	182,692	190,810	
定点観測地(4箇所)の入込客数	人	230,000人/年以上	138,000	142,688	150,153	160,220	161,215	
観光イベントの参加者数(夏まつり)	人	50,000人以上	47,000	48,000	48,000	50,000	50,000	

< 検 証 >

- 本分野は、目標値には達していないが、震災直後の落ち込みからは回復基調にある。
- 市民意識調査では、満足度が低く評価されており、改善策の検討が必要な分野である。

(5) 安全・安心な環境のまちづくり

①環境保全・美化対策の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
1人当りの年間ゴミ排出量	kg	337.0kg/年以上	359.30	325.42	334.10	339.80	331.22	
集団資源回収量	t	500.0 t/年以上	434.40	433.00	456.60	439.07	417.88	
住宅用太陽光発電システム設置補助件数	件	500件以上	240	333	418	458	527	

< 検 証 >

- 1人あたりの年間ゴミ排出量は目標値に達しているもののバラつきみられる。
- 集団資源回収量については、目標値に達しておらず、また近年下降トレンドにある。
- 市民意識調査においては、重要度及び満足度が低く評価されている。また、個別意見にはごみ分別に対する苦情が多く寄せられている。このことから、再度ごみ分別の必要性を整理するとともに、環境問題全体と合せて意識の醸成を図っていくことが必要である。

②安全・安心な水環境の形成

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
老朽管(石綿管)改修率	%	100%	80.6	84.5	92.8	94.00	98.00	
汚水処理人口普及率	%	75.0%以上	68.4	69.8	70.80	71.12	76.29	

< 検証 >

- 成果指標については、目標値に近づいている。なお、指標の内容が活動量を表すものとなっており、指標の設定の仕方を再検討する必要がある。
- 市民意識調査での満足度は、相対的に高い評価となっている。

③快適な住環境の形成

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
市道改良率	%	47.0%以上	46.3	46.3	46.5	46.7	46.8	

< 検証 >

- 成果指標については、目標値に近づいている。
- 指標の内容が活動量を表すものとなっており、指標の設定の仕方を再検討する必要がある。

④消防・防災体制の充実

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
火災発生件数	件	0件/年	12	14	14	11	13	
自主防災組織数	組織	116組織	18	19	19	19	22	

< 検証 >

- 火災発生件数については、ほぼ同水準で推移している。今後も引き続き発生予防に努めることが重要である。
- 自主防災組織については、目標値に達していない。なお、目標値達成のあり方については再度検討を要する。
- 市民意識調査では、満足度は高く評価される一方で、重要度はそれほど高く評価されておらず、さらなる防災意識の醸成が求められる。

⑤防犯・消費者保護対策の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
犯罪発生件数	件	130件/年以下	147	225	158	88	71	
防犯灯設置数	箇所	1,390箇所以上	1,151	1,165	1,216	1,296	1,413	

< 検証 >

- 犯罪件数については、平成25年度は増加したものの、近年は減少傾向にある。このことから、要因を検証し、継続して減少を目指すことが必要である。
- 防犯灯の設置は計画的に進んでいる。なお、設置数と合せ設置場所の最適化を図ることが重要である。
- 指標の内容が活動量を表すものとなっており、指標の設定の仕方を再検討する必要がある。

⑥交通安全対策の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
交通事故発生件数	件	125件/年以下	130	131	135	124	117	

< 検証 >

- 交通事故発生件数については、近年は減少傾向にある。このことから、要因を検証しながら、継続して減少を目指すことが必要である。

⑦計画的な土地利用の推進

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
農用地面積	km ²	23.00km ²	23.38	23.04	22.89	22.71	22.18	
森林面積	km ²	26.79km ²	27.02	27.02	27.07	27.07	27.03	
宅地面積	km ²	9.15km ²	8.59	8.72	8.76	8.78		

< 検証 >

- 成果指標については、いずれも目標値に達しておらず、土地利用の最適化・流動化に向けて手法の改善が必要である。
- 意識調査については、満足度が若干低い評価となっている。

⑧都市基盤の形成

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
都市計画道路整備率	%	53.0%以上	51.4	51.4	51.4	51.4	54.5	
市内公共バス利用者数	人	78,000人/年以上	66,633	64,074	65,701	61,566	58,869	

< 検証 >

○都市計画道路整備率については、目標値に達している。なお、市民意識調査では、生活道路等を含めた満足度が若干低い評価となっており、分析が必要である。
 ○市内公共バス利用者数については、目標値に達していない。なお、意識調査では、重要度が高い評価となっている一方で、満足度は全項目中最も低い評価となっており、改善を行う必要がある。なお、成果視表の設定にあたっては、1日当たりの利用者数とするなど、分かりやすいものにする検討が必要である。

3. 重点プロジェクト

(1) 未来につながる「震災・災害からの復興」プロジェクト

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
空間線量率（本宮市役所）	μSv/h		0.19	0.12	0.09	0.08	0.07	
空間線量率（白沢総合支所）	μSv/h		0.22	0.13	0.10	0.09	0.08	
除染進捗率（住宅除染）	%		4.6	16.6	37.6	73.2	100.0	
内部被ばく（ホールボディカウンタ検査による預託実効線量が1 mSv以上の者）	人		0	0	0	0	0	
外部被ばく（ガラスバჯによる追加被ばく平均年間線量）	ms/年	1ms/年未満	0.93	0.65	0.44	0.29	0.25	

< 検証 >

○放射能除染、健康管理等は順調に進んでいる。
 ○市民意識調査においては、「復興は進んだ」と回答する市民の割合が59.5%を占めた。この要因として、「除染等による空間線量の低減化」、「健康管理」、「子どもの遊び場の確保」などがあげられている。他方、「復興は進んでいない」と回答した市民は17.2%おり、その要因として「風評の払拭」が57.4%を占めている。

(2) 定住促進につながる「住みよいまちづくり」プロジェクト

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
総人口	人	32,000	31,489			30,924	30,880	
社会動態人口	人		△ 220	△ 87	△ 10	31	99	
自然動態人口	人		△ 96	△ 99	△ 111	△ 123	△ 124	

< 検証 >

○総人口は減少傾向にある。その大きな要因は自然動態の大幅な減少であり、市の各種事業を出生数増加につなげるための手法の検討が必要である。他方、社会動態については、震災以降回復基調にあったが、近年上昇幅が鈍化しており、手法の改善等を要する。

(3) 安心につながる「災害に強いまちづくり」プロジェクト

指標名	単位	目標値 (H30)	H24	H25	H26	H27	H28	傾向
自主防災組織数	組織		18	19	19	19	22	
戸別受信機設置率	%		96	93	95	95	94	

< 検証 >

○本分野については、基本施策と重複していることから、次期計画においては、施策体系の整理が必要である。

※現時点で、平成29年度分の数値は記載していない。

※表中網掛けまたは斜線箇所は、数値等が未公表のもの。

※重点プロジェクトについては、目標値の設定をしていない。

市民意識調査_評価結果

	満足度	重要度
学校等教育	3.04	4.07
青少年教育	2.97	3.89
生涯学習	3.08	3.75
多文化共生・都市交流・国際交流	3.02	3.66
生涯スポーツ	3.14	3.72
歴史・文化・芸術	2.90	3.49
行財政運営	2.89	3.63
広報広聴	3.10	3.57
広域行政	3.05	3.65
高度情報通信	2.97	3.78
市民活動、地域活動、協働参画	3.06	3.45
子育て支援	3.01	4.11
健康	3.22	4.03
高齢者福祉	3.06	3.98
障がい者福祉	2.98	3.86
生活支援	2.95	3.66
地域福祉	3.00	3.69
人権・男女共同参画	2.95	3.50
農林業	2.78	3.59
商工業	2.79	3.77
企業誘致・事業創出	2.88	3.93
雇用対策	2.76	3.91
観光・物産振興・にぎわい創出	2.74	3.74
環境保全・エネルギー	2.84	3.69
ごみ対策・美化活動	3.18	3.82
上下水道	3.22	3.76
道路	2.84	3.71
住宅・住環境	2.90	3.69
消防	3.33	3.69
防災・減災	3.18	3.85
防犯・交通安全・消費者対策	3.14	3.72
公園・緑地・景観	3.20	3.76
土地利用	2.82	3.61
中心市街地の整備	2.88	3.69
地域公共交通	2.68	3.85
平均	2.99	3.75

施策評価散布図

